

■ エフエム上越 出張Jステーション(3月)

エフエム上越のパーソナリティーが、市内各地に出向いて地域のイベントや市民活動の様子、参加者の声をお届けします。



FM-Jホームページ

- ▶とき…3月16日④午前11時～ ▶放送内容…謙信公と春日山城展(春日区)
- ▶問合せ…広報対話課(☎025-526-5111、内線1427)

■ 猫の譲渡前講習会・譲渡会

上越動物保護管理センターで保護されている猫の新しい飼い主の募集と飼い方の講習会を行います。参加費は無料で、申し込みは不要です。

- ▶とき…3月23日④午後1時30分～3時30分 ▶ところ…上越科学館 ▶定員…20人程度 ▶問合せ…上越動物保護管理センター(☎025-525-9263)

■ もっと知ろう! 「人にやさしいまちづくり」⑤

これまでの回では、取り除くべき4つの障壁について紹介してきました。障壁を取り除き、誰もが安全・安心で快適に暮らせるまちをつくるためには、制度や慣行、施設や設備を整えるだけでなく、「心のユニバーサルデザイン」が必要不可欠です。(ここで言う「障壁」とは、「人にやさしいまちの実現を妨げるもの」を指します)

■ 「心のユニバーサルデザイン」とは?



わたしたち一人一人がさまざまな人の立場に立って、思いやる・譲り合う・助け合うことが「心のユニバーサルデザイン」です。

例えば、点字ブロックが整っていても、その上で立ち話をしたり、自転車を置いたりしては意味がありません。また、案内表示や音声案内が不足していても、絵や身振りなどで必要な情報を伝えられる場合があります。

「心のユニバーサルデザイン」を実践することで、今ある施設や設備の機能が十分に発揮できたり、足りない部分を補ったりすることができます。

■ 「心のユニバーサルデザイン」を実践するためには



① 自分の身の周りに関心を持つ

わたしたちの身の周りには、障害のある人や高齢者、妊婦や外国人など、さまざまな立場や状況の人がいます。身の周りに困っている人がいないか関心を持ちましょう。

② さまざまな立場の人を思いやる

相手の立場に立って、「自分だったらどうしてほしいか」考えてみましょう。

③ 自分にできることから始める

少しの勇気をもって「何かお手伝いが必要ですか」などと声を掛けてみましょう。ほかにも、例えば次のような行動が手助けとなります。

- ・障害者等用駐車場には、利用対象者以外の人は駐車しないようにしましょう。
- ・エレベーターや多目的トイレでは、障害のある人やベビーカーを押している人など、配慮が必要な人を優先しましょう。
- ・段差のある場所で車いすの人が困っていたら、補助を申し出ましょう。



問合せ…共生まちづくり課(☎025-526-5111、内線1396)

こちらは有料広告欄です